

カジノを含む統合型リゾート(IR Integrated Resort)誘致へ、大阪が動き出した。大阪エンターテインメント都市構想推進検討会は昨年8月にまとめたIR立地に向けたコンセプト案をこの8月、具体的な候補地を盛り込んでブラッシュアップ。橋下徹大阪市長を代表とする大阪維新の会も、IR誘致を柱に「国際エンターテインメント都市」を目指すマニフェストを公表した。秋の臨時国会ではいよいよ「統合型リゾート推進法案(カジノ法案)」成立の公算が高い。「なにわの夢」がまたひとつ、大きくなる。

カジノレストラン

「Jack & Queen」

大阪市浪速区難波中

IRの施設として話題。そんな情景を彷彿とさせられているのが、日本ならではのスポットがこの初のカジノ。ラスベガス、大阪・なんばにオーヤマカオで知られている「プリン」した。カジノレストランはギャンブル場とラン「Jack & Queen」しての性格が強いが、本「en」(大阪市浪速区難波中)だ。

遊び方を指導

ビルの2フロア、約360平方メートルを、約2億3000万円



プロのディーラーがゲームの遊び方を丁寧に教えてくれる

統合型リゾート誘致でふくらむ

なにわの夢 エンターテインメント都市構想



カジノに行ったことがある。ルールをよく知らない初人なら経験されているか。心者は、ルーレットならかもしれないが、ゲームの、またしも、カードゲームねいに教えてくれるのはうれしい。

また、フロアの奥にはシャンパンを中心にウィスキー、ブランドデーなど、名だたる高級品を揃えたバーカウンターを備える。ゲームで熱くなった頭をここで冷やすのもいいし、グラスを片手にフロア中央にあるステーションで眺めかしく踊るポールドンサーを眺めるのもいい。

本格的料理やVIPルームも

レストランと名がつく。離れた立地だが、これも日々の生活を忘れ、非日常の空間を楽しむのに

2階へ上がると、そこはより豪華さを増したVIPフロア。パーティーも開ける個室が設けられており、合コンや女子会などにもってこいだ。

地下鉄なんば駅から少し離れた立地だが、これも日々の生活を忘れ、非日常の空間を楽しむのに

ちょっとお先に カジノ気分



カジノレストラン「Jack & Queen」。本格的なルーレットをはじめ、ゲームを身近に楽しむことができる



料金は1階のメインフロアが男性5000円(3000円分のチップ+1ドリンク)、女性2000円(2000円分のチップ+1ドリンク)。

2階のVIPフロアは男性3万円、女性1万円など。詳しくはHP(jackandqueen.com)まで。



法案は今秋成立へ

大阪府・市が連携して立地準備に取り組み「大阪府市IR立地準備会議」を設置。この夏には、学識経験者や経済界代表、大阪府・市、堺市、市長代表らで構成する「大阪エンターテインメント都市構想推進検討会」が、大阪における統合型リゾート(IR)立地に向けて」と題した基本コンセプト案を一部修正・追加して更新。カジノを含むIRを誘致した場合の候補地として、正式に大阪湾の人工島「夢洲」を盛り込んだ。

さらに大阪維新の会も、大阪都構想実現に向けた政策案(マニフェスト)を発表。大阪都として2025年の万国博覧会を開催することも、IRを誘致することにより、大阪に人を集め、年2%以上の経済成長達成を目標に掲げている。

誘致候補地 大阪は夢洲

大阪におけるIR誘致案(IR推進法案)の国に向けた動きは活発だ。会工程を受け、松井一郎昨年12月、「特定複合 大阪府知事を本部長、橋下徹大阪市長を副部長とし、観光施設区域整備推進法」を提出している。

自民党や日本維新の会など超党派の議員連盟が提出した「統合型リゾート推進法案(カジノ法案)」が、この秋の臨時国会でいよいよ成立する見込みだ。これを受けて政府は、東京五輪開催する2020年までに、全国3カ所前後でカジノの開設を認める検討に入った。開設候補地として有力視されているのは、大阪市のほか沖縄県、横浜市など。カジノ法案が成立すれば、内閣官房に立ち上げた準備組織を中心に、カジノ運営のルール作りやさまざまな法整備を進めていくことになる。

政府がモデルとするのはラスベガスやマカオではなく、ホテルや会議場、大規模ショッピングモールなどが集った一角に、カジノを併設したシンガポール。外国人のカジノへの入場は無料である一方、自国籍の入場者からは一定の入場料を徴収し、ギャンブル依存に歯止めをかける仕組みも取り入れる方向だという。

モデルはシンガポール方式

政府方針